

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	I Le 与儀 ユージン		
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23家庭 (25名)	(回答者数) 19家庭
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○法人内に発達障害診療の専門クリニックとの連携 ○法人内、専門職員による研修の実施	○定期的に医師が事業所に訪問し、直接児童の様子を見てもらい、フィードバックミーティングを設けている。 ○研修実施により意識向上・スキルアップに繋がっている。	○医療連携の強化、研修を通し、支援の質の向上を目指す。
2	利用児童に合わせた、活動スペースを確保しています。 (仕切りで2つの療育室を使い、静・動の使い分けを行っている、裏庭での余暇時間の提供)	○可能な限り、利用児童の望む過ごし方に応えられるよう環境設定を心がけています。 ○昨年、裏庭を整備し児童の遊び場として解放。 余暇時間に鬼ごっこやボール遊びを行っている。	○個別支援を環境整備を行っていく。 ○裏庭に遊具を少しずつ増やし、児童にとってより楽しい環境にしていく。
3	活動内容の見直し、実施	○日々の活動がマンネリしないよう、職員間で話し合い、定期的な見直し、実施に努めています。	○継続的に行う中での成長過程を見る活動も設けながら、児童が楽しく、飽きない活動内容を立案します。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の災害への備えや訓練、各種委員会マニュアルの保護者様への周知や理解	○面談時や活動予定の中で伝えてはいるが、具体的な内容については周知できていない事もあると思われる。	○年度初めには年間スケジュール、非常時のマニュアルを保護者へ配布する。
2	保護者・地域住民との交流場の強化	○運動会は毎年開催しているが、保護者同士が交流できる機会が少ない。	○保護者会、季節ごとのイベントを開催し、交流の場を作る。 ○児童の製作物などをお披露目する機会を通し、交流の場を作る。
3	個別支援、活動の強化	○利用児童、年齢、個々の特性合わせた支援を行い、より成長に繋げる環境整備が必要と思われる。	○低学年～高学年と幅広く在籍しているので、年齢・特性に合わせ、活動を分ける事も検討。 ○個室の使用や、裏庭も活用し、支援幅の向上を目指す。